

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E112K009		体育実技 (武道:柔道) (Physical Education Practice)																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
必修	1	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 阿部 淳(非常勤講師)												
						E-mail 内線												
授業の概要	柔道の理念、歴史などについて学習するとともに、柔道の基本動作、对人的技能、また初心者段階的な指導法の習得を目指す。																	
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	基本的な動作が分かってできる。																	
目標2	技を分析し、技能の向上ができる。																	
目標3	初心者の指導法がわかる。																	
目標4	安全に注意して指導ができる。																	
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1	柔道の歴史、理念の講義																	
2	日本とヨーロッパの柔道の違いについての講義																	
3	礼法、姿勢、進退、組み方、崩し、体さばきの習得																	
4	後ろ受け身、横受け身の習得																	
5	前回り受け身、横転受け身の習得																	
6	袈裟固め、横四方固めの習得																	
7	縦四方固め、肩固めの習得																	
8	固め技の乱取り																	
9	膝車、大腰の習得																	
10	大外刈り、背負い投げの習得																	
11	大内刈り、小外刈りの習得																	
12	払い腰、送り足払いの習得																	
13	立ち技の乱取り																	
14	試合を通して技の習得																	
15	まとめ																	
ラ イ ク ニ テ ン イ グ レ ー プ	A:知識の定着・確認	実技テスト。					工 夫 そ の 他 の	適宜のグループディスカッション										
	B:意見の表現・交換	技のかけ方について発表、討議。																
	C:応用志向																	
	D:知識の活用・創造																	
時間外学修 の内容と時 間の目安	準備 学修	インターネット、テレビ等で柔道の試合を観戦する。																
	事後 学修	授業で学習した技をテレビ等で確認する。																
教科書	資料																	
参考書	中学校保健体育科指導要領																	
成 績 評 価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10						
	実技テスト	70%																
	技のかけ方についてグループでの話し合い内容	30%																
注意事項	遅刻・欠席を留意																	
備考	予習と復習を推奨する																	
リンク																		
	URL																	

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	当該科目に関し、豊富な実務キャリアを有する